

複合病害虫抵抗性と日持ち性に優れた 高品質メロン新品種「アルシス」

本欄では、昨秋、メロンの新品種として、省力栽培が可能な「フェーリア」を紹介（「技術の窓No.1801」）したところですが、メロン産地では、重要病害であるうどんこ病、つる割病や主要害虫であるワタアブラムシの発生も大きな問題となっています。また、病害虫抵抗性に加えて、高い果実品質と日持ち性を兼ね備えた品種の開発が強く要望されていました。そこで、(独)農研機構野菜茶業研究所では、(株)萩原農場生産研究所と共同で、果実の日持ち性に優れ、病害虫抵抗性で、病害虫の防除回数の縮減や防除労力の軽減が期待できるメロン新品種「アルシス」を育成しましたので、その概要について紹介いたします。

☆ 技術の概要

1. 開発した品種「アルシス」は、高品質で日持ち性の高い系統 HGMP-2 を種子親とし、うどんこ病・つる割病・ワタアブラムシに抵抗性があり日持ち性の高い系統 AnMP-5 を花粉親とするアールス系メロン F₁ 品種です。
2. うどんこ病（レース 1 およびレース pxA）、つる割病（レース 2）に抵抗性があり、ワタアブラムシが増殖しにくい品種です(表 1)。
3. 果皮はわずかに緑がかった灰色で、果実重は 1,800g 程度、果実の外観は良好です。
4. 果実の内部品質は、「雅春秋系」と同程度に優れ、食味は良好です。果肉は淡黄緑色で、果実の糖度は「雅春秋系」に比べて同等かやや高く、果実の日持ち性は複合病害虫抵抗性品種の「アールス輝」より長く、「雅春秋系」と同等かやや優れます。

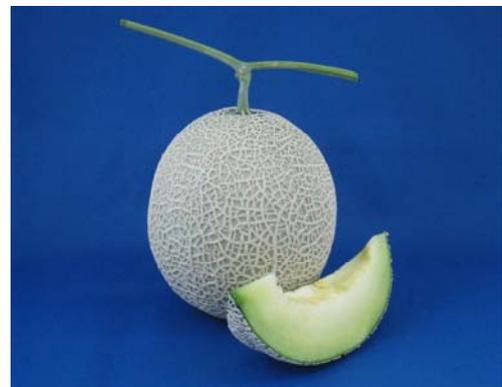


写真 「アルシス」の果実

表 「アルシス」における病害虫抵抗性および果実特性

品種・系統名	うどんこ病抵抗性			つる割病抵抗性			ワタアブラムシ抵抗性			果実特性			
	供試 個体数	抵抗性 個体数	罹病性 個体数	供試 個体数	抵抗性 個体数	罹病性 個体数	供試 個体数	健全 個体数	縮葉 個体数	果重(g)	果肉色	日持ち性	糖度(Brix)
アルシス	6	6	0	6	6	0	6	6	0	1,816	淡黄緑	7日程度	15.0
雅春秋系	6	0	6	6	6	0	6	0	6	1,797	淡黄緑	6日程度	13.8
アールス輝	6	6	0	6	6	0	6	6	0	1,676	淡黄緑	3日程度	15.5

☆ 活用面での留意点

1. 「アルシス」は、半促成型及び普通作型ではネットの発現が不安定になりやすいことから、抑制作型に適する品種です。
2. 「アルシス」は、平成 23 年 10 月に品種登録出願公表を済ませました。今後、(株)萩原農場から種子が販売される予定です。
3. 詳しいことは、(独)農研機構野菜茶業研究所野菜育種・ゲノム研究領域 (Tel.050-3533-4610) へお問い合わせください。(日本政策公庫 農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 袴田勝弘)